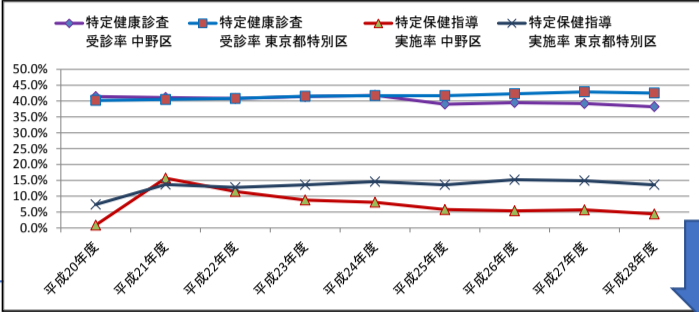


# データヘルス計画通信

中野区国民健康保険では、特定健康診査の結果や診療報酬明細書（レセプト）の情報（データ）を活用して、中野区国民健康保険被保険者の皆さま（およそ8万9千人）の健康課題を分析し、新たな保健事業の提案を行っています！  
健康づくりや、生活習慣病の予防に是非お役立てください！！

## 特定健康診査の受診状況・特定保健指導の実施状況



## 新たな特定健診受診率、保健指導利用率向上事業

- ① 受診勧奨方法の改善：過去の健診受診歴や問診票の結果等のデータを分析し、効果的な特定健診の受診勧奨を行います。
- ② 診療情報収集事業：特定健診未受診の方に追加の検査をしていただき、特定健診としてみなします。
- ③ 特定保健指導の変更：特定健診の結果説明日に保健指導を実施できるしくみや、特定保健指導の受けられる機関を増やします。

また、特定健診結果や、診療報酬明細書（レセプト）の情報を分析し、医療機関への受診が必要な被保険者に対し、通知・電話により、受診勧奨を行います。

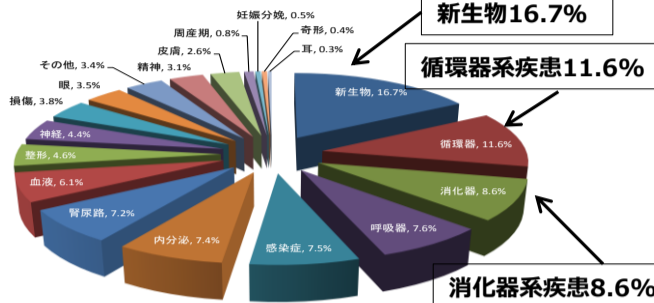
特定健康診査を受けましょう！！



減少が続いています。

## 疾病分類別医療費の状況

PDM法でみると、医療費が多くかかっている病気の順位は、新生物16.7%で、続いて循環器系疾患11.6%、消化器系疾患8.6%という順になります。



平成28年度 1人当たりの医療費（医科入院・外来・調剤）

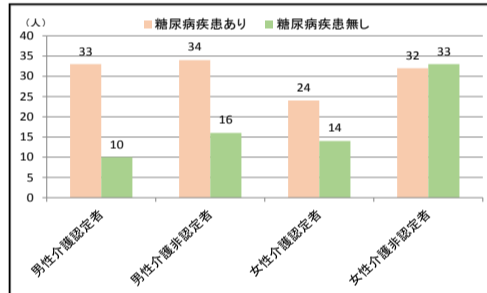
被保険者1人当たり年間医療費は、**225,202円**  
（食事療養費・歯科は含まず）

医療費総額は、**年間 200億円！！**

## 認知症の方の介護保険認定の有無と糖尿病の状況

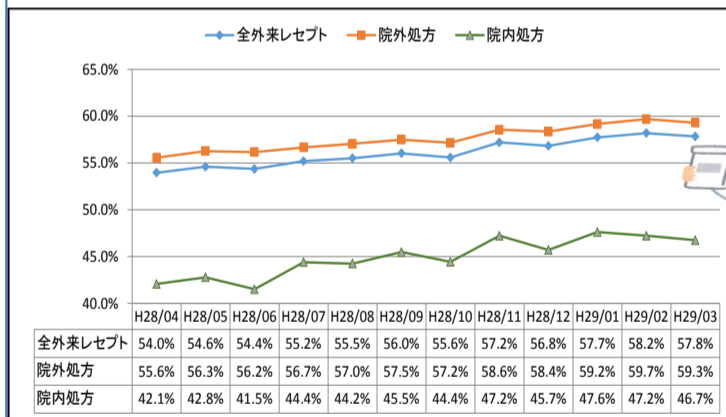
糖尿病を40～50歳代の中年期に発症した場合、認知症になったときに、脳の萎縮を起こしやすいこともわかってきており、認知症を予防する上でも、糖尿病を防ぐことが重要となっています。女性介護保険非認定者以外は、介護認定者のうち糖尿病疾患ありの人が、糖尿病疾患なしに比べ多くっており、特に男性の場合はその差が顕著にみられる結果となっています。

糖尿病は、悪化させないことが重要です！！



## ジェネリック医薬品使用の状況

医療機関で処方される薬には先発医薬品と、薬価の低いジェネリック医薬品（後発薬）があります。微増ですが右肩上がりに、ジェネリック医薬品の利用が増えていきます。引き続きジェネリック医薬品のご利用をお願いします。



## ワンポイントアドバイス

### 『お薬手帳とかかりつけ薬局（薬剤師）』

＜薬局には『お薬手帳』を持って行きましょう＞

お薬手帳には、いつでもどこで何の薬を処方されたかが記録されています。副作用を防ぎ、安心してお薬を服用するための大切な情報源となります。

＜『かかりつけ薬局』を持ちましょう＞

かかりつけ薬局を決めることで、副作用を防ぎ、安心してお薬と付き合うことができます。また、お薬の飲みすぎや飲み忘れなどについても、身近な場所で相談することができます。



中野区国民健康保険データヘルス計画についてのお問合せ先:

中野区保険医療分野 保健事業担当(中野区役所6階5番窓口)

電話 03(3228)5408 FAX 03(3228)5626

